

第6章 ビジョンの推進に向けて

1. 推進にむけた運営の施策

(1) 市内サービスネットワークの充実

本館は、市内の図書館ネットワークの中枢を担う機能を果たし、本館を中心とした分館・コンビニ等のネットワーク全体が最大限の効果をあげ、市内全域に図書館サービスが均質に行きわたるよう努めます。

ア 市内全館の情報共有

全館において、均質で良質なサービスを維持・提供できるよう、統一の業務マニュアルに基づいてサービスを行うとともに、館長会議、業務改善会議、資料選定会議、児童奉仕会議等の各種調整会議を実施し、方針が徹底するよう調整していきます。

イ 効率的な物流の検討

市民の必要とする資料が、各館やサービスポイント等に迅速かつ効率的に届くよう、流通について常に確認し、見直しを図ります。

また、返却場所についても、まちづくりセンター等、身近な場所へ設置するなど市民の利便性を考慮した運営に努めていきます。

さらに、所在館方式をとっている各館の蔵書が、過不足なく、調和のとれた構成となるよう、より効果的な資料の循環方法を検討していきます。

ウ 効果的なサービスの検証

定期的な利用者懇談会の開催やアンケートの実施などを通じて、市民の図書館に対する要望や評価を把握し、図書館運営に反映させる仕組みの構築を図り、効果的なサービスが提供されるように検証していきます。

(2) 本館の機能強化

図書館サービスをより充実させるために、コントロールタワーとしての本館の機能を強化・拡充し、全館で、柔軟かつ質の高いサービス提供ができる図書館ネットワークの構築を進めます。

ア 職員体制の強化

本館においては、図書館ネットワークの中核を担う拠点として、その機能を強化するため、図書館資料等の選定・管理ができる知識を有する職員やレファレンス、児童奉仕等の専門的スキルおよび知識を持った職員等の確保・育成に努めます。また、それにより、分館等との連絡・調整や管理・指導ができるマネジメント能力を高め、質のよい図書館運営を図ります。

イ 資料の充実

本館においては、幅広い分野にわたる、多種多様な市民のニーズやレファレンスに対応可能な図書資料等の充実を図ります。また、分館に対しても、蔵書構成についての助言やレファレンスサービス等の支援を行うなど、図書館ネットワークを活用した資料・情報共有等を行い、館による格差のない図書館サービスが可能となるよう努めます。

(3) 図書館職員の資質向上

業務の中で培われてきた知識とスキルを継承するとともに^{けんさん}研鑽を積み、職員の資質向上に努めます。

ア 外部研修への参加

国・県などが実施する各種外部研修へ職員を積極的に派遣し、専門的知識・技術や先進事例を学ぶことにより、図書館職員の専門性向上を図ります。

また、参加した職員の研修成果を職場に還元するなど、新たに得た知識やスキルの共有に努めます。

イ 館内研修体制の確立

業務の中で培われてきた知識とスキルを継承し、専門性の質を高めるため、館内研修を組織的・計画的に行い、全職員の資質向上に努めます。

また、図書館職員としての知識・技術を高め、研修成果を生かして、市民ボランティア育成のための講師派遣を行います。

(4) 安心して利用できる環境の構築

自然災害や館内での迷惑行為などのリスクに対して迅速に対応し、利用者が安心して利用できる環境が保たれるよう努めます。

リスク発生時には、迅速かつ適切な行動が可能となるようマニュアルに基づいて対応していきます。なお、マニュアルの内容については、適宜見直しを行います。

また、安全で快適な環境を維持できるよう施設の点検を行い、「所沢市公共建築物修繕計画」に基づき、ユニバーサルデザインの観点から、誰もが使いやすい施設環境の充実に努めます。

さらに、資料の盗難や無断持ち出し等による被害を防ぎ、市民の財産である情報資源を守るため、また、利用者が安心して安全に図書館を利用できるよう、防犯カメラ等の設置検討も含め、必要な策を講じていきます。



雪の日の本館

2. 推進イメージ

(1) 計画推進体制

所沢図書館（分館を含む）が中心となり、関係機関・団体とともに、様々なサービスを展開していきます。

